



審判(副)委員長

## 戦評用紙



種別 **バレーボール (精神)** 会場 **小浜市民体育館**

平成 **30** 年 **10** 月 **14** 日 日曜日 第 **2** 日目

特設Aコート 第 **8** 試合

1回戦(第 試合)  準決勝(第 試合)  3位決定戦  決勝戦  交流戦(第 試合)

◎試合結果 (該当する種別にレ印)

勝利チーム	<b>25</b>	—	<b>19</b>	}	<b>0</b>	<b>大阪府</b>	都道府県、指定都市名
<b>青森県</b>	<b>2</b>	<b>25</b>	<b>15</b>				
都道府県、指定都市名							

【審判員】  
 主 審： 杉下 真文(福井県) 副 審： 辻 弘文(福井県)  
 記録員： 松宮 誠(福井県) A・S： 辻 美樹羽(福井県)

【戦 評】 記載者： 東 條 悟

3位決定戦の青森県対大阪府の試合は、青森県2番佐藤のサービスエースで幕をあげた。両チーム鋭いスパイクをくり出すが、好レシーブの連続で、ボールはなかなかコートに落ちない。青森県がクイックを織り交ぜた巧みなトスワークで点をとれば、大阪府は1.2番立岡の強烈なスパイクで点を取り返し、レベルの高いラリーが続く。中盤で抜け出したのは、5番棟方のサーブが効果的に決まった青森県。大阪府も粘りの守備で追いつがるが、ネット際の攻防を制した青森県が第1セットを先取した。第2セット序盤は、大阪府1.4番細井の活躍により、大阪府がリードする。以降は、両チーム、全員バレーで堅い守りを見せ、一進一退の攻防となる。両者一步も譲らない展開が続いたが、中盤で1.1番太田のスパイクや3番坂根のブロックで流れを引き寄せた青森県が一気にリードを広げ、そのまま第2セットを取り切り、3位を決めた。